

【様式第 4 号】

令和 7 年度 第5回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 ほどほどの会 会議録	
日時	令和 7 年 8 月 19 日 (火) 15:45～17:00
開催場所	常盤台病院
出席者	田中 (わおん)、加藤 (リンク)、深澤・松浦 (常盤台病院)、山本 (区役所)、田村・橋本 (基幹相談支援センター)、新井田 (あかね工房)、佐藤若・大方 (生活支援センター)、渡辺・若林 (西区基幹相談支援センター)、実習生 (敬称略)
欠席者	霜島 (あかね工房) (敬称略)
開催形態	公開 (傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議 題	1. 普及啓発について 〈アンケートより、次年度に行うこと〉 次年度から協働で実施したいこととして、以下を病院にお返しする。 ① 支援者向けの動画作成。 初回は事業所紹介動画 (1 事業所 3～5 分程度)。ほどほどの会参加事業所+家族会 病院側のニーズはアンケートにて収集可能か (情報を知りたい、職員と話したい、見学に行きたい など) 検討事項:リリース時期、主担当 ② OT プログラムに「ほどほどの会の日」をつくる+OT プログラム見学会の実施 →地域支援者との顔つなぎ、どんな患者さんがいるのか地域支援者が知る機会に。 プログラム案:茶話会、生活あるある講座 (掃除、お金のやりくりなど)、医師による疾病講座 など ③ 入院患者向けに出張生活支援センター。→出張体験チームに合流 ④ 次年度の生活教室のプログラムについて→生活教室は今まで通りに継続。アンケートでいただいた意見は「② OT プログラム」に反映する。 〈アンケートについて 深澤氏より〉 ・回答率良、コメント多数。 ・勉強会や意見交換会は病院職員にとってもニーズが高いが、実施については検討必要 (業務の忙しさ、参加率など)。→動画配布 〈次年度予定の組み方について〉 ・9月ほどほどの会にて、下半期予定を確認。 ・下半期予定 出張あかね工房 (R8年度2月、3月) 事例検討 (アンケート優先で進める予定) 2. 出張あかね工房振り返り 〈概要〉 ・7/30 (水) 13:30～14:30 常盤台病院にて実施 - 入院患者 8 名が参加 (男性 4 名、女性 4 名) - 内容:スマホケースのラベルはがし、封筒折り ・参加者より「楽しかった」「自分にはできないと思っていたが、できることがあるとわかってう

れしい」等の感想をいただいている

・初めての参加者もあり、作業体験に繋がった。

→参加者にとってプラスの体験になっている。退サポケースも巻き込みたい

〈OT 松浦氏より〉

・参加前は「OTの作業よりも難しいのでは」と参加への壁を感じている人もいた。実際に参加してもらうことで、作業への取り組みやすさのイメージ作りになったのでは。

・作業所の情報、雰囲気や作業内容は口頭で伝わりきらない。退院後、孤独になる思いがある方もいる。

→入院中から、地域生活を知れる機会があると良い。地域の支援者との顔つなぎにもなる。

〈次回の予定〉

常盤台病院からあかね工房への作業体験 テーマ:お昼ご飯を一緒に食べる

日程:9/10(水) 12:00~ 昼食+作業体験(1H)

前回の出張あかね工房に参加された方を優先

3. その他

〈自立協コラムについて〉

・掲載内容 アンケートについて

・掲載時期 10月

・執筆予定者 深澤氏

〈西区基幹相談より〉

・西区生活体験教室について紹介

→ねくさす主催の宿泊体験会は年中開催、見学も可能。生活訓練とは違う一人暮らしのワンルームのお部屋を見ていただく機会に。入院中、GH入居中の方も利用実績あり(応相談)。

※夜間帯は職員在中なし。

4. 次回内容

・下半期ほどほどの会の予定について

・出張あかね工房振り返り

次回: 9月16日(火)15:30 ~

場所: 常盤台病院